

(放課後等デイサービス事業所・すくすくルーム)

## 個別支援計画(前期・後期)

氏名：千葉 一郎(仮名)

## ○目標(内容と期間)

長期目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すくすくルームで見通しを持って、安心して過ごせるようになります。</li> <li>・好きな事や得意な事を見つけて、楽しく活動に参加出来るようになります。</li> </ul>
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいお友達やスタッフの顔と名前を覚えて、仲良くなります。</li> <li>・すくすくルームの日課や生活に親しみましょう。</li> </ul>

## ○支援計画

項目	目標	支援内容	支援期間	優先順位
発達支援	(情緒・行動) ルームの一日の生活の流れを覚えましょう。	Aスタッフが一郎君の担当スタッフになり、ルームでの過ごし方を伝えたり、必要なお手伝いをします。一郎君が分かりにくいことは、絵や写真カード、図表、手振りサイン等を添えて伝えるようにします。	3ヶ月	1
	(活動・遊び) 楽しく活動に参加しましょう。	自由活動の時間には、一郎君が好きなトミカ遊びと自転車遊びを選べるようにします。一郎君が好きなことを自分で選べるようにして、ルームでの楽しい体験を積み重ね出来るようにします。	6ヶ月	1
	(学習・課題) 仲間と一緒に楽しく過ごしましょう。	ルームの帰りの会に、Aスタッフが付き添って参加するようにします。一郎君に苦手そうな様子がある場合には、Aスタッフが一郎君の気持ちを確認しながら、無理をせずに安心出来る時間だけ参加してもらるようにします。	3ヶ月	2
保護者支援	就学後の家庭生活のリズムや習慣を整えていきましょう。	ルームでは、毎日同じリズムや流れで、一郎君が生活出来るようにしていきます。ルームでの様子を毎日お伝えするようにしますので、帰宅後の生活習慣を整えるようにしていきます。	6ヶ月	4
地域連携	ご家庭、当ルーム、学校での一郎君の生活ぶりについて、情報を共有するようにしましょう。	毎日の一郎君の生活ぶりについて、学校の担任の先生と毎日の送迎時に確認するようにします。また、訪問支援の相談員さんを交えて、定期的に一郎君の情報交換を実施するようにします。	6ヶ月	3

作成日：H28・4・1

利用者：千葉太郎 児童発達支援管理責任者：岩瀬 管理者：狩野